



2020年9月25日

各位

会社名株式会社オプトラ
代表者名代表取締役社長執行役員 林 為平
(コード番号：6235 東証第一部)

問い合わせ先 取締役専務執行役員 高橋 俊典
管理部長兼経営企画室長
(TEL. 03-6635-9487)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

現時点での業績見込みを踏まえ、2020年2月13日に公表いたしました2020年12月期の業績予想及び配当予想を修正しましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2020年12月期連結業績予想数値の修正（2020年1月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	46,200	12,000	12,000	9,200	216.94
今回修正予想（B）	37,000	9,400	9,700	7,100	166.64
増減額（B－A）	△9,200	△2,600	△2,300	△2,100	－
増減率（％）	△19.9	△21.7	△19.2	△22.8	－
（参考）前期連結実績 （2019年12月期）	42,822	10,879	11,031	9,101	216.69

（修正の理由）

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世界経済への影響が顕在化しており、とりわけ弊社が主要な市場と見込む最高度成膜技術を反映した最終製品の需要回復が遅れており、弊社装置への新規発注の動きが抑制されております。また、米国の対中国経済制裁により、一部の中国スマートフォンメーカーの生産への影響が顕在化したことや新型スマートフォン発売延期の影響もあり、弊社装置発注に影響が出たこともマイナス材料となりました。このような状況で、2020年度末までの見込みを推定した結果、前回発表予想より減収減益となり、本件開示を行うことといたしました。

売上高は、スマートフォンや自動車・生体認証・光通信等のIoT関連では底堅く推移するものと思われませんが、カメラレンズ、LEDは当初想定を下回る状況となっております。また、新型装置は開発を完了し、受注活動に入り始めておりALD装置の初受注や5G向け新型光通信装置等の受注・売上が貢献し始めておりますが、本格的な業績貢献は2021年度以降になるものと思われま

す。利益は、売上高の減少により減益となる見込みです。そのため原価率は若干増加しますが、販管費率は横ばいであり、経常利益率も横ばいとなる見込みです。なお、装置生産効率の改善や部材調達のコスト削減を徹底しておりますが、他方で販売費及び一般管理費は抑制しながら、研究開発費用は必要な規模で支出しており、今後の新製品となる新型装置開発は継続して注力して行っております。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	—	60.00	60.00
今 回 修 正 予 想	—	50.00	50.00
当 期 実 績	0.00	—	—
前 期 実 績 (2019年12月期)	0.00	60.00	60.00

(修正の理由)

弊社の方針は、研究開発費は必要な支出を継続し、生産体制強化・品質向上のための費用支出も行います。また、今後の企業成長に必要な出資・提携等にも積極的に取り組んでまいります。これらの事業への支出を行いつつ、可能な内部留保資金は収益状況に応じて株主様への還元を柔軟に行うこととしております。連結配当性向30%程度を目安に安定的な1株当たり配当を目指してまいります。

上記方針及び業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を1株当たり60円から10円減額し50円に修正いたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる場合があります、それに応じて配当も変動する場合があります。

以上